



**株式会社 SJI**

証券コード：2315

---

# 2011

---

# SJ Group Report

---

2010.4.1>>>2011.3.31

---

## Contents

株主の皆様へ	1
連結業績・財産等の推移	3
報告セグメントの概況	4
連結財務諸表	5
会社情報	9
株式の状況	10
株主メモ／ホームページ紹介	11



### Q：当期の経営環境と取り組みについて

A：企業収益や個人消費が持ち直しつつあった日本経済でしたが、IT投資の削減や抑制傾向は依然として強く、完全失業率の高水準での推移そして2010年度後半からは円高が継続いたしました。一方、中国経済は、不動産バブルや物価高騰等の懸念点はありつつも、政府が推進する景気刺激策等の効果により、景気は内需を中心に拡大いたしました。

このような中、S Jグループは厳しい環境へ対応すべく、グループをあげてコスト削減に取り組み、収益構造の転換を目指した「構造改革」の一環として、希望退職者募集や北海道事業の譲渡を実施いたしました。

日本におきましては、顧客の要望に応え、信頼を得る努力を1年365日積み重ね、一括受託開発の拡大やオフショア開発積極化、コスト圧縮を継続して行いました。結果、利益率の向上にも努めてまいりましたが、受注単価の下落と一部プロジェクトの受注遅延等により、売上・利益共に苦戦を強いられました。

一方、高い経済成長率を維持している中国におきましては、神州数碼（デジタル・チャイナ）グループとの提携を軸に、中国事業の加速化に注力すると共に、投資・資金管理を強化いたしました。結果、日本マーケット向けシステム開発が好調でしたが、中国聯迪清潔技術工程有限公司グループが2010年3月より持分法適用会社となったため、前年度比較で、売上・利益共に減少いたしました。

### Q：来期の取り組みについて

A：日本におきましては、固定費の削減による事業収益の向上、医療情報システム等の収益性と成長性が見込める分野への投資による

平素は格別のご支援とご高配を賜り、  
ありがたく御礼申し上げます。

なお、この度の東日本大震災により  
被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げます  
と共に、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

2011年6月  
代表取締役会長兼社長 李 璽

収益構造の改革を目指すとともに、研究開発部門を設置し、ベンダーとのアライアンスも含めた付加価値の高いソリューションの企画・開拓を図ってまいります。

組織的には製販分離体制とし、顧客との信頼関係の維持・強化を図り、選択事業領域へのリソースの集中と専門性・技術力の向上を目指します。また、管理部門の合理化等の推進により、間接コストの圧縮を行います。

一方、中国におきましては、神州数碼（デジタル・チャイナ）グループとの合意事項である金融・政府向け等のS I事業におけるシステム開発の当社中国子会社への集約を具体的に進め、選択と集中の観点から成長が見込まれる事業に投資し、収益の拡大を目指します。

また、日中双方において、①日本と中国の橋渡し事業の推進、②財務流動性の向上、③人材の育成強化 を実施してまいります。

**Q：株主の皆様へのメッセージについてお聞かせ下さい。**

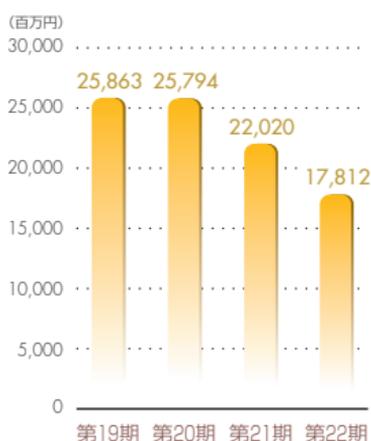
**A：**今回の東日本大震災は、日本経済に大きな影響を与え、先行き不透明感の強い経営環境が継続することが予想されます。

そのような環境下、S Jグループは「日本と中国でシームレスな事業展開が可能である」という特徴を活かし、他社とのアライアンスを強化することで存在感のある企業を目指すと共に、神州数碼（デジタル・チャイナ）グループとの提携を大きな軸として、今後も経済成長が見込まれる中国市場を積極的に開拓し、『情報サービスにおける日中の架け橋』となるべく事業を展開してまいります。

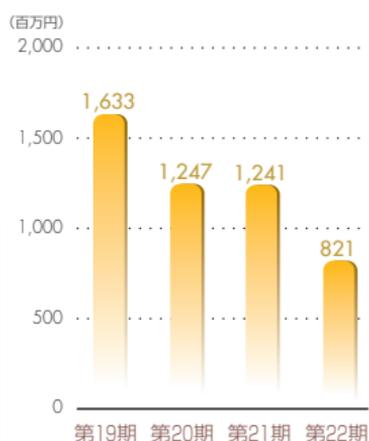
株主の皆様には、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 連結業績・財産等の推移

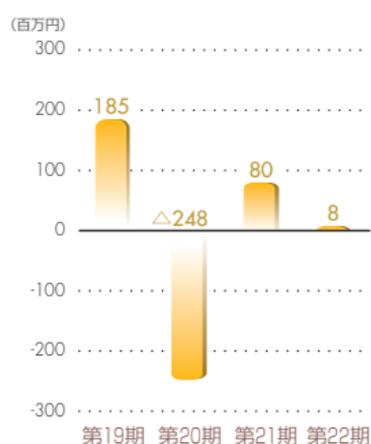
## 売上高



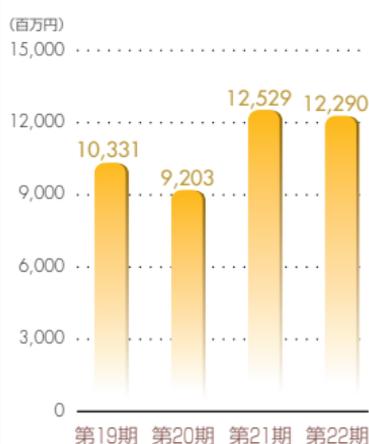
## 経常利益



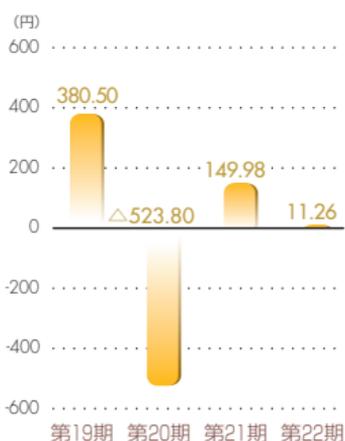
## 当期純利益



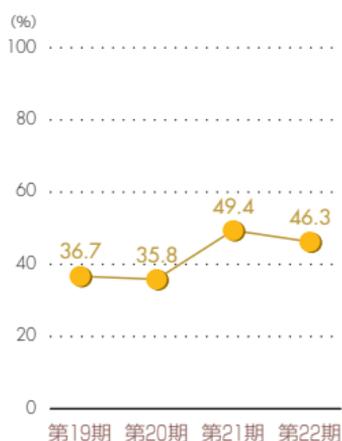
## 純資産



## 1株当たり当期純利益



## 自己資本比率



注：1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数に基づき算出しています。また、株式分割の影響は考慮していません。

## 報告セグメントの概況

当社グループは、日本及び中国において事業を展開しており、報告セグメントの概況は、次のとおりです。

### ●日本

大型一括受託型システム開発ならびに作業支援型システム開発において、営業・提案力の強化により、稼働率が向上いたしました。また利益率の向上に努めてまいりましたが、受注単価の下落と一部プロジェクトの受注遅延等により、売上・利益共に苦戦を強いられました。

以上により、売上高は11,888百万円（前連結会計年度比4.1%増）となり、セグメント利益（営業利益）は292百万円（前連結会計年度 セグメント損失（営業損失）43百万円）となりました。

### ●中国

日本マーケット向けシステム開発を主要事業とする聯迪恒星（南京）情報系統有限公司は、日本のアライアンス企業からの発注が旺盛であったため、非常に好調であり、業績に寄与しました。また神州数碼通用軟件有限公司は、既存顧客の受注減少により苦戦を強いられましたが、神州数碼（デジタル・チャイナ）グループや中国国内企業からの受注による収益の安定化に向けて、コスト圧縮等の内部体制の整備を進めました。

一方、主に中国国内マーケット向けのシステム開発を行っている科大恒星電子商務技術有限公司は、電力・通信事業を中心とした需要が好調であり、業績は堅調に推移しました。また、中国向けS I サービスを提供する北京宝利信通科技有限公司におきましては、市場における競争激化に伴う自社製品販売の減少や顧客都合による納期の変更等があったものの、一定の利益は確保いたしました。

以上により、売上高は7,111百万円（前連結会計年度比38.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は398百万円（前連結会計年度比72.0%減）となりました。

### ●売上高

（単位：百万円）

### ●営業利益

（単位：百万円）



注：売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれており、また同営業利益には、持株会社に係る費用等の全社の項目に該当する営業費用が含まれておらず、また、セグメント間の内部営業利益の消去が行われていません。そのため、各セグメントの売上高と営業利益のそれぞれの合計と連結財務諸表に記載の売上高と営業利益の数値は異なります。

# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第22期 (2011年3月31日現在)	第21期 (2010年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>16,106</b>	<b>15,391</b>
現金及び預金	3,143	3,928
受取手形及び売掛金	4,499	5,703
商品及び製品	762	423
仕掛品	55	96
前渡金	4,001	1,186
繰延税金資産	209	309
短期貸付金	1,225	1,641
預け金	2,120	2,120
その他	435	357
貸倒引当金	△346	△374
<b>固定資産</b>	<b>7,460</b>	<b>7,129</b>
有形固定資産	256	320
建物及び構築物	93	110
機械装置及び運搬具	23	34
工具、器具及び備品	117	153
土地	22	21
無形固定資産	1,230	1,059
のれん	826	935
その他	404	123
投資その他の資産	5,972	5,750
投資有価証券	3,379	3,015
出資金	4	3
長期貸付金	471	405
繰延税金資産	30	86
投資不動産	1,911	2,098
その他	331	337
貸倒引当金	△156	△196
<b>資産合計</b>	<b>23,566</b>	<b>22,521</b>

注：記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

### POINT

- ・前渡金の増加は、主に中国では営業活動を行う際、仕入れを優先させる傾向にあるため中国子会社において増加したものです。
- ・のれんの減少及び投資有価証券の増加は、中国聯迪清潔技術工程有限公司グループが持分法適用関連会社となったことによるものです。

(単位:百万円)

科 目	第22期 (2011年3月31日現在)	第21期 (2010年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>9,294</b>	<b>8,365</b>
支払手形及び買掛金	1,332	976
短期借入金	5,298	4,835
1年内返済予定の長期借入金	1,017	1,283
未払法人税等	153	91
賞与引当金	231	157
役員賞与引当金	48	27
その他	1,211	995
<b>固定負債</b>	<b>1,981</b>	<b>1,626</b>
長期借入金	1,899	1,494
その他	82	131
<b>負債合計</b>	<b>11,275</b>	<b>9,991</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>11,768</b>	<b>11,831</b>
資本金	2,843	2,843
資本剰余金	7,678	7,678
利益剰余金	1,334	1,398
自己株式	△88	△88
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△867</b>	<b>△706</b>
その他有価証券評価差額金	2	△16
繰延ヘッジ損益	△5	△9
為替換算調整勘定	△864	△681
<b>少数株主持分</b>	<b>1,389</b>	<b>1,404</b>
<b>純資産合計</b>	<b>12,290</b>	<b>12,529</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>23,566</b>	<b>22,521</b>

## POINT

- ・支払手形及び買掛金の増加は、中国子会社において仕入れが増加したことによるものです。
- ・短期借入金及び長期借入金の増加は、中国において営業活動を行う際の資金調達によるものです。

# 連結財務諸表

## ■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第22期 (2010年4月1日から 2011年3月31日まで)	第21期 (2009年4月1日から 2010年3月31日まで)
売上高	17,812	22,020
売上原価	14,409	17,505
売上総利益	3,403	4,515
販売費及び一般管理費	2,710	3,198
営業利益	692	1,316
営業外収益	776	413
営業外費用	646	488
経常利益	821	1,241
特別利益	9	119
特別損失	362	382
税金等調整前当期純利益	468	978
法人税、住民税及び事業税	117	151
法人税等調整額	138	△29
少数株主損益調整前当期純利益	212	—
少数株主利益	204	775
当期純利益	8	80

注:記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

### POINT

- ・売上高及び少数株主利益の減少は、中国聯迪清潔技術工程有限公司グループが持分法適用関連会社に移行したことによるものです。
- ・販売費及び一般管理費の減少は、中国聯迪清潔技術工程有限公司グループの持分法適用関連会社化に伴うのれん償却額等の減少によるものです。

## ■ 連結株主資本等変動計算書 第22期(2010年4月1日から2011年3月31日まで)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2010年3月31日残高	2,843	7,678	1,398	△88	11,831
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△71		△71
当期純利益			8		8
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△63	—	△63
2011年3月31日残高	2,843	7,678	1,334	△88	11,768

注:記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

### POINT

- ・第21期の利益配当金として1株あたり100円を支払いました。なお、第22期の

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	第22期	第21期
	(2010年4月1日から 2011年3月31日まで)	(2009年4月1日から 2010年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△908	966
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74	△1,095
財務活動によるキャッシュ・フロー	387	3,915
現金及び現金同等物に係る換算差額	△140	△49
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△4,336
現金及び現金同等物の増減(△減少)額	△735	△600
現金及び現金同等物の期首残高	3,878	4,478
現金及び現金同等物の期末残高	3,143	3,878

注:記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

### POINT

- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、主に前渡金3,009百万円の増加による減少要因が、税金等調整前当期純利益468百万円と売上債権の減少884百万円を上回ったことによるものです。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、主に貸付けによる支出403百万円の減少要因が、貸付金の回収による収入579百万円等の増加要因を上回ったことによるものです。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入れによる収入1,500百万円の増加要因が、長期借入金の返済による支出1,328百万円等の減少要因を上回ったことによるものです。

(単位:百万円)

その他の有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額			その他の包括利益累計額合計	少数株主持分	純資産合計
	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定				
△16	△9	△681	△706	1,404	12,529	
					△71	
					8	
19	3	△182	△160	△14	△174	
19	3	△182	△160	△14	△238	
2	△5	△864	△867	1,389	12,290	

期末配当金は1株あたり200円となります。

## 会社情報

名 称	株式会社SJI [SJI Inc.]
所 在 地	〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番8号 (品川シーサイドイーストタワー)
設 立	1989年7月14日 (事業持株会社化・商号変更 2009年7月)
事 業 内 容	SJグループの管理運営、情報サービス事業
資 本 金	2,843,601,604円 (2011年3月31日現在)
社 員 数	2,485名 (2011年3月31日現在 連結ベース)
主要事業子会社	株式会社リーディングソフト 聯迪恒星 (南京) 信息系統有限公司 科大恒星電子商務技術有限公司 北京宝利信通科技有限公司 神州数碼通用軟件有限公司
役 員	代表取締役会長兼社長 李 堅 代表取締役副社長 琴井 啓文 代表取締役副社長 木村 裕 取締役相談役 辻川 幸二 取 締 役 郭 為 取 締 役 何 文潮 取 締 役 王 遠耀 取 締 役 鹿島 亨 取 締 役 矢吹 義明 常勤監査役 宮田 誠一 常勤監査役 牧田 啓 監 査 役 増田 輝夫 監 査 役 宮本 進

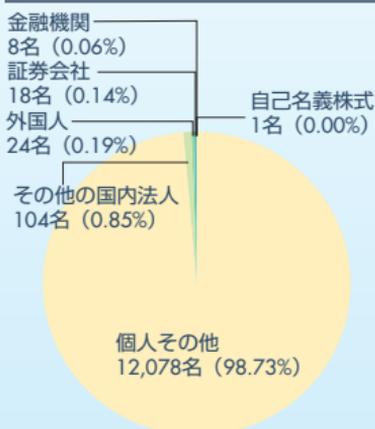
# 株式の状況

## 概要 (2011年3月31日現在)

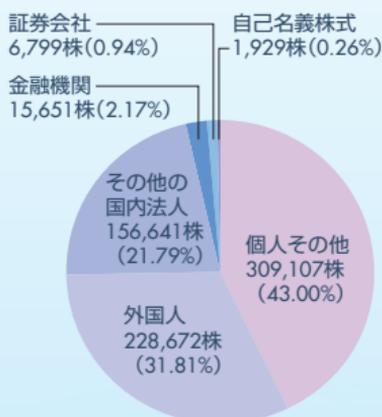
■ 発行可能株式総数	1,410,000株
■ 発行済株式総数	718,799株
■ 株主数	12,233名

## 所有者別株式分布 (2011年3月31日現在)

株主数：合計 12,233名



株式数：合計 718,799株



## 株価／出来高の推移 (2011年4月30日現在)



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当	3月31日
基準日	(中間配当を実施するときは9月30日)
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
	その他必要ある場合には、あらかじめ公告をして定めることと致します。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払 <sup>(※)</sup> 、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。 (※) 未払配当金のみ、みずほ銀行全国本支店でもお取扱致します。	電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

公告掲載方法 電子公告により、当社ホームページ (URL:<http://www.sji-inc.jp>) に掲載致します。但し、電子公告によることのできない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載致します。

## ホームページ紹介



SJIのホームページでは、株主・投資家の方々をはじめ、広く皆様にご利用いただけるよう、「正確」かつ「タイムリー」で「わかりやすい」情報開示を心がけ、情報発信を行っています。

<http://www.sji-inc.jp>